

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 植 林	(ふりがな) しょくりん	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	伐 採		
伝承地域	三島町大石田		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 大正時代頃までは、元山、木挽き、大工が家建てに関わるのは普通だった。		
内容	山林の伐採は、樹齢もさることながら、田畑の購入資金や不時に備えて山林が重要な位置を占めていた。特に家屋の建築は自分の持ち山の育成に合わせて計画され、用材の総てを持ち山で賄うことが理想であり、誇りでもある。大工が木割りし、モトヤマ(元山)に依頼。モトヤマはその要請に応じて樹木を木割り通りの数量に仕上げる。モトヤマはその力量を発揮して完成すれば、建前のとき上座に招かれて尊敬された。これがまたモトヤマの誇りであった。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	三島町教育委員会	電話0241-48-5599	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	_____		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女	_____ 歳	
	住所・電話	〒	_____	
	職 業	_____		
団体	団体名 (ふりがな)	_____		
	代表者氏名 (ふりがな)	_____		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	_____	年 月 日
	問い合わせ先	_____ 電話		

【フリーフォーマット】

キーワード

建主、大工、元山の三者による家造りは近年減多に見られなくなった。



(三島町教育委員会)